

ごあいさつ



福島県公立小中学校事務研究会会長 尾又芳行

本年度も福島県公立小中学校事務研究会会長を仰せつかり、改めて身の引き締まる思いです。副会長及び新役員一同、会員の皆様の御協力をいただきながら充実した研修、活発な研究活動が推進されるよう努力する所存です。微力ではありますがどうぞよろしくお願いいたします。

さて、本年は9月に県事務研研究大会が開催されます。本研究会が推進している第五次長期研修計画下の最後の大会であり、発表を担当される支部におかれましてはその準備に奔走されていることと思います。支部の一層の団結を深められ、学校事務のより良い実践のお手本を示してくださいませようをお願いいたします。

本会専門委員会は、「クリエイティブ」をスローガンに活発な活動を推進しております。プランニング委員会は、第六次長期研修計画への移行に向け会員への周知を図るとともに、令和9年度に開催される全国大会宮城大会発表に向けたプロジェクトチームを立ち上げ準備を進めております。研究推進委員会は、本研究会が発出した標準的職務と育成指標について、各支部研修会へ講師派遣事業を活用してお招きをいただき、学校事務の標準的な職務の考え方や職階を考慮した育成指標の有効な活用法について、支部会員の皆様と一緒に共創する活動を行っております。研修企画委員会は、本研究会主催の研修会・研究大会の円滑な運営に向けた諸準備を進めております。情報委員会は、今年度より「ガジナビ」の運用をGoogleドライブによる管理体制に変更いたしました。このことにより、目まぐるしく変化する法令等に応じた迅速なデータ修正を行えるようになりました。特に会員の皆様へ活用と充実のメリットを還元しながら、学校事務に関わる教育関係諸機関、管理職においても従来通り閲覧することが可能です。本研究会の大切な財産として、今後も「ガジナビ」の充実を目指してまいります。

また、今年度より、県義務教育課主催の新規採用事務職員研修会及び新任主任主査研修会が参集により開催され、本研究会からも講師を派遣するなど充実した研修が行われました。長年、学校事務職員に特化した任命権者研修の充実を要望しておりましたが、県義務教育課様、県小学校長会様、県中学校長会様、学校事務職員教育関係諸団体様より多大な御尽力をいただき開催の運びとなったことに心より御礼を申し上げます。このような研修の充実が教育全体に波及し、福島県内すべての子どもの豊かな学びにつながれば幸いです。

近年、研究団体の必要性や存在意義が問われ、全国的に組織や運営体制の維持が課題となっています。福島県事務研に求められるものは何か、これからの研究団体はどうあるべきかを真剣に議論する時が来たと感じています。今後、若い世代においては、全国や東北地区等、他県の学校事務職員と触れ合う機会がますます増えていくと想定しています。その中で、将来福島県をリードしていける人材育成が急務となります。会員が興味を示す研修会、会員が参加したくなる事務研を目指した運営を行ってまいりますので、皆様のお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。